

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵全摘後糖尿病患者における FGM (flash glucose monitoring) の有用性
	研究目的	膵全摘後の糖尿病患者さんの血糖コントロールを行う上で、血糖測定は重要です。血糖測定の方法として、従来の血糖自己測定の外、FGM という器械を用いた血糖測定方法も開発されています。この研究では従来の血糖自己測定を行っていた膵全摘後糖尿病患者さんに、FGM を行うことで、血糖コントロールや栄養状態、糖尿病治療に関連する QOL への影響をみることを目的としています。
	研究対象者	当院で膵全摘手術を行い、糖尿病内科に通院している人のうち QOL アンケート調査にご協力いただいた方。
	研究期間	西暦 2018 年 8 月 3 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(QOL 質問票) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	糖尿病内科 堀井三儀
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	糖尿病内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし